Panasonic

取扱説明書

ワイヤレスアンテナ

品番 WX-RB910A

RAMSA

上手に使って上手に節電

もくじ

ご使用前に

はじめに ····· 2
- 商品概要 ····· 2
- 付属品をご確認ください ····· 2
- 免責について ····· 2

安全上のご注意 ····· 3
設置上のお願い ····· 5
各部の名称 ····· 5

工事

設置のしかた ····· 6
- BNCレセプタクル(現地調達)を使用する場合 ····· 8
- 同軸ケーブルを壁または天井に沿って配線する場合 ····· 9

接続のしかた ····· 10

その他

故障かな!? ····· 11
仕様 ····· 12
保証とアフターサービス ····· 13

保証書別添付

このたびは、ワイヤレスアンテナをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(3〜4ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機はワイヤレス受信機WX-R822、ワイヤレス混合分配機WX-R901用のワイヤレスアンテナです。本機は2本を1組として使用してください。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書） …… 1冊
保証書 …… 1式

免責について

- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害

② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など

③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合

④ 本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことで被る不便・損害・被害

⑤ 第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

⑥ 第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害

⑦ 故意または偶然の結果、通話内容が第三者に傍受・漏えいすることによる不便・損害・被害

本商品の無線通話はアナログ方式を採用しており、傍受を抑止する機能はありません。故意または偶然の結果、第三者が傍受し、通話内容を知り得ることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

ねじや固定機構はしっかり締め付ける

締め付けがゆるむと落下などでけがの原因となります。

ぶら下がらない、足場代わりにしない

けがの原因となります。

定期的に点検をする

金具やねじが錆びると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店にご依頼ください。

塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない

取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。

異物を入れない

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

⚠警告

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

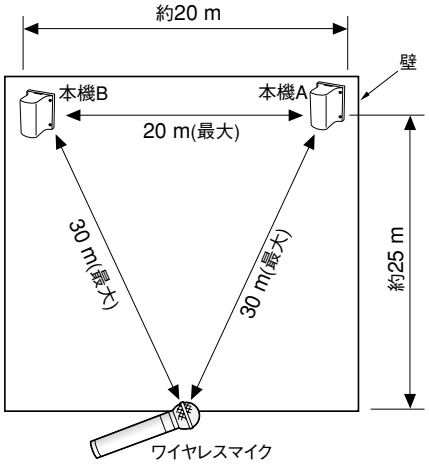
壁取付時、質量に耐える指定の方法で取り付ける

ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。

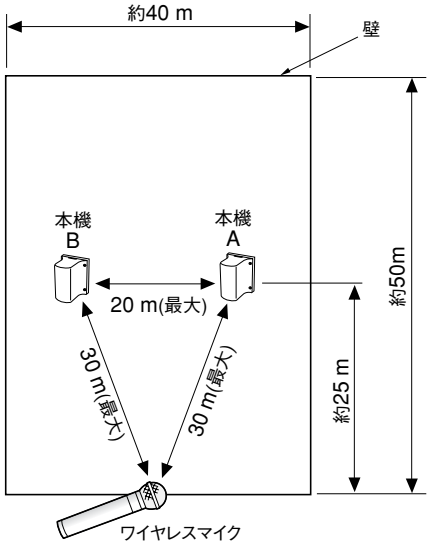
設置例

- 本機とワイヤレスマイクの通信可能範囲は約30 mです（ただし、設置環境により変わります）。

講演会場の場合
（天井より見た図）



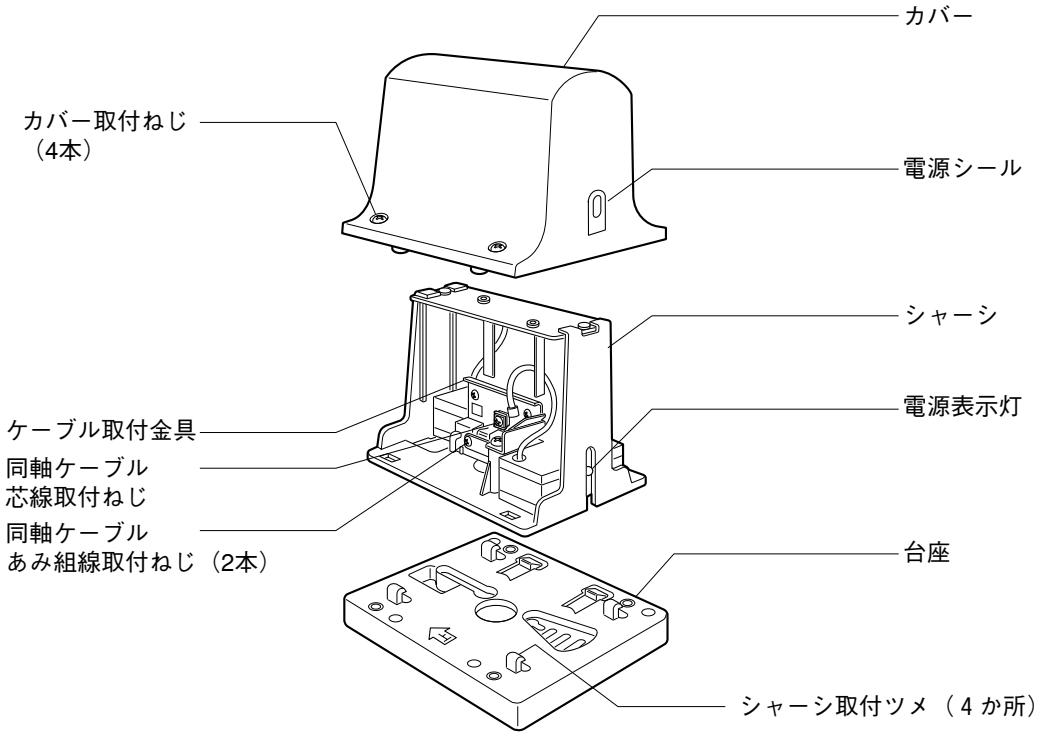
一般的な教室の場合
（天井より見た図）



設置上のお願い

- 取り付けについて
  垂直強度および水平強度98 N（10 kgf）以上の強度を持つ壁面に取り付けてください。
  化粧合板やモルタル壁への取り付けはしないでください。強度不足による落下の原因になります。
- 本機を壁に取り付ける場合は、垂直に取り付けてください。ワイヤレスマイクの移動する範囲内で、本機が見える位置に垂直に取り付けます。
- 高層ビル内に設置するときは、放送電波、業務電波および外来ノイズなどの影響を少なくするため、窓からできるだけ遠い位置にアンテナを設置してください。それが無理であれば窓から3 m以上離して設置してください。
- ワイヤレスマイクどうしは50 cm以上離してください。
- 本機は必ず2本を1組で使用し、同軸ケーブルは2本とも同じ長さか±10 %以内におさえてください。
- 本機は屋内取り付け専用です。
- 近く（30 cm以内）に電線や金属物などがある所には設置しないでください。アンテナの受信感度が低下します。
- 本機とワイヤレスマイクの距離は2 m以上離してください。2 m以内に近づきますと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など、受信機が誤動作することがあります。
- 雑音電波を発生させるコンピューター・空気清浄器などからできるだけ遠い位置に設置してください。近くに設置すると、雑音電波の影響でノイズや受信感度低下の原因になります。
- 同軸ケーブルとコネクターの処理および接続は確実に行ってください。
  処理および接続が不完全な場合は、受信感度が低下したり、外来ノイズの影響を受けやすくなります。
- 本機どうしの間隔は5～20 mにしてください。ダイバシティ受信が効果的に働きます。
- 本機と接続する機器は、ワイヤレス受信機はWX-R822、ワイヤレス混合分配器はWX-R901を必ず使用してください。

各部のなまえ

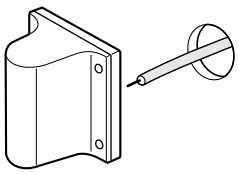


設置のしかた

本機は下記のように3通りの設置が可能です。

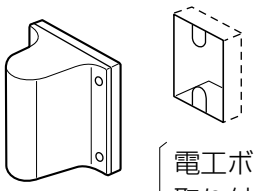
Ⓐ同軸ケーブルを壁または天井から直出しする場合

垂直方向



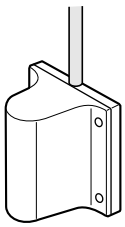
Ⓑ同軸ケーブルが埋め込み電工ボックスで配線されている場合

〔電工ボックスは取付ピッチ 66.7　83.5　89　101 mm に取付可能です。〕



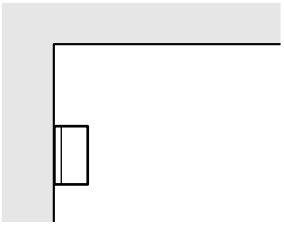
〔電工ボックスは必ず縦に取り付けてください。〕

Ⓒ同軸ケーブルを壁または天井に沿って配線する場合



ご注意

①本機はできるかぎり壁に垂直に取り付けてください。



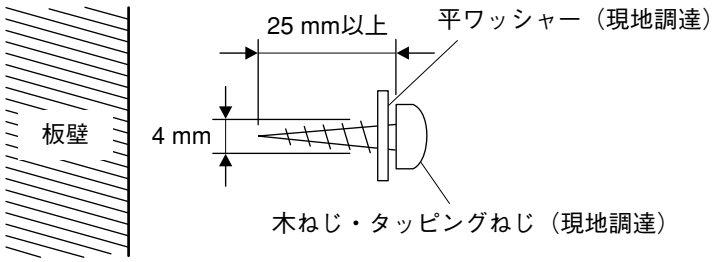
もし、天井などに取り付けた場合（水平取付）は、垂直取付時より受信感度が低下します。

②使用する同軸ケーブルは本機と受信機までの距離により異なります。10ページの「■同軸ケーブルについて」を参照し、ご使用ください。

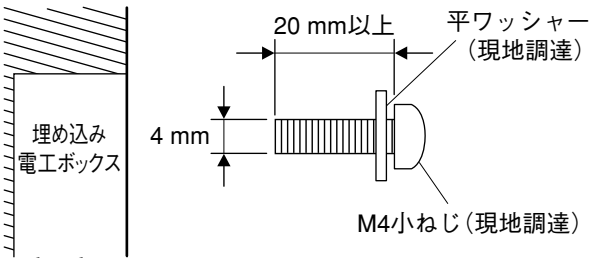
工事

●取り付けねじ（現地調達）について

取り付けに使用するねじは付属しておりません。市販のM4バインド頭ねじを使用してください。
M4ナベ頭ねじを使用する場合は、平ワッシャーを入れて固定してください。
ねじ長さは、取り付け壁・取り付け方法により異なります。下図を参照して、取り付け壁・取り付け方法に適したねじを使用してください。



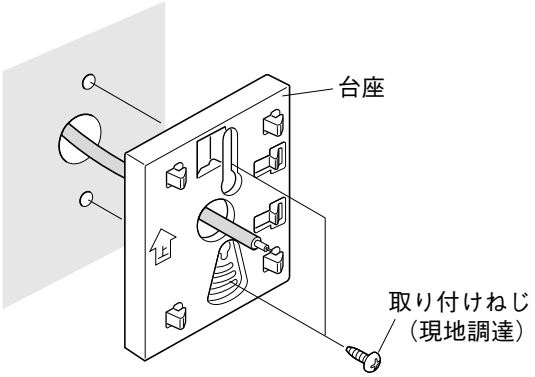
板壁取り付けの場合



埋め込み電工ボックス取り付けの場合

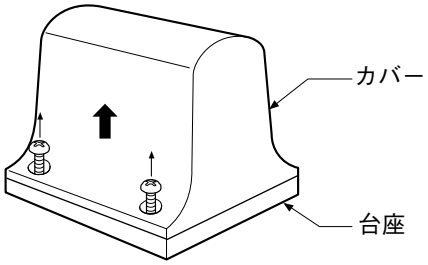
●固定について

取り付けねじ2本を使用して、台座を確実に固定してください。（台座が動かないことを確認してください）電動ドライバーやインパクトドライバーの使用は避けてください。締めすぎにより、壁やねじが破損する原因となります。
締め付けトルク：0.78～1.18 N･m
{8～12 kgf･cm}



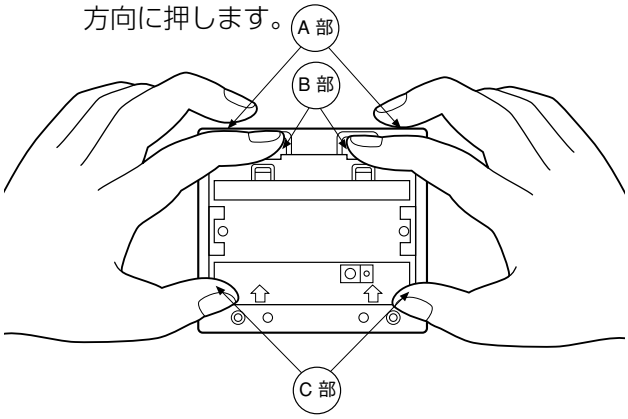
1 カバーを外します。

台座を取り付けるためにカバーのねじ4本をゆるめます。



2 台座とシャーシを外します。

①両手でA部を押さえ、②B部を下に押し、③C部を⇧印方向に押すと外れます。
※取り付けは、上記B部を押さずに③の逆方向に押します。

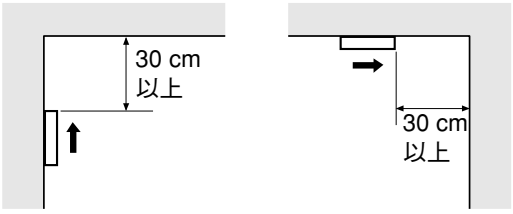


（本機を上方向から見た図）

3 台座を取り付けます。

ご注意

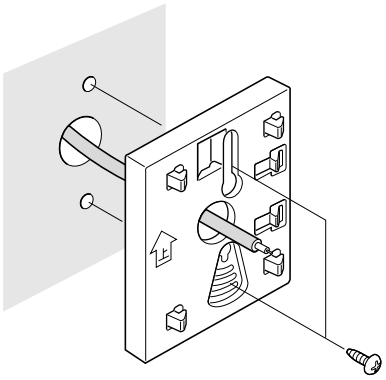
- 台座は壁または天井から30 cm以上はなして固定してください。



- 台座を壁に固定する場合は、台座の⇧文字を必ず上方向にして固定してください。
- 台座を天井に固定し、壁の近くに取り付ける場合は台座の⇧文字が上図の矢印方向になるように固定してください。（電源表示灯が見やすく便利です）

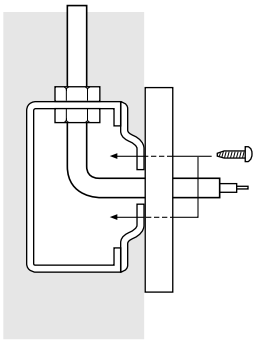
Ⓐ同軸ケーブルを壁または天井から直出しする場合

台座を壁または天井の任意のところへ取り付けます。台座を取り付ける前に約Φ20 mmの穴をあけ、同軸ケーブルを台座の穴に通して、ねじ2本で固定します。



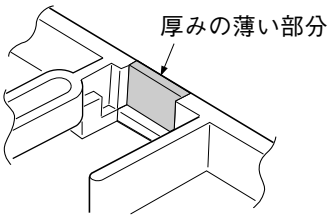
Ⓑ同軸ケーブルが埋め込み電工ボックスで配線されている場合

電工ボックスから同軸ケーブルを台座の穴に通して、ねじ2本で固定します。

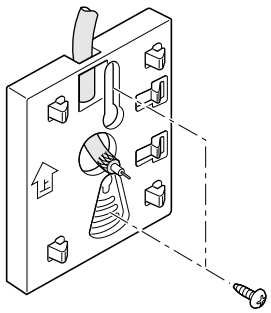


Ⓒ同軸ケーブルを壁または天井に沿って配線する場合

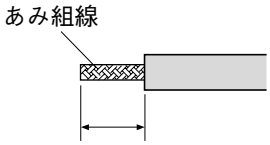
①台座を固定する前に台座の一部（　部）をニッパーなどで取り除きます。

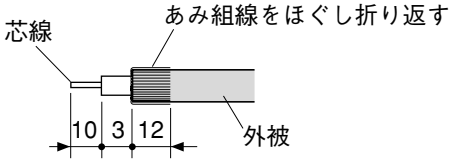


②同軸ケーブルを台座の取り除いた部分と台座の穴に通し、台座を壁にねじ2本で固定します。



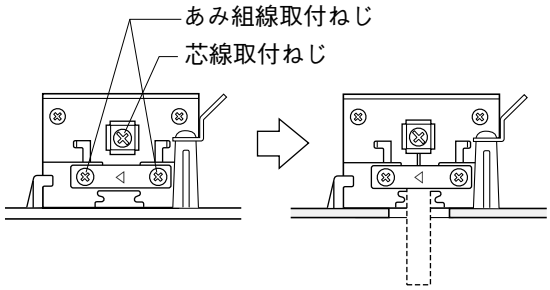
4 アンテナ側の同軸ケーブルの先端処理加工をします。





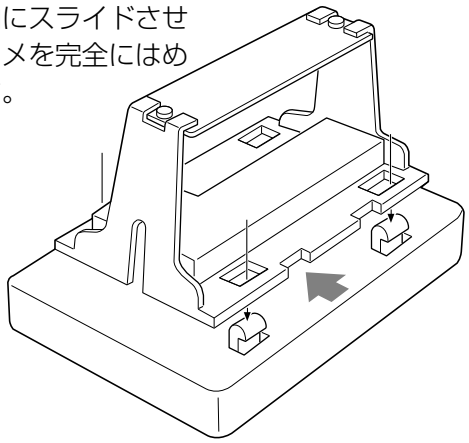
5 同軸ケーブルを接続します。

シャーシ内の芯線取付ねじとあみ組線取付ねじを充分にゆるめ、先端処理をした同軸ケーブルを挿入し、ねじ3本で取り付けます。

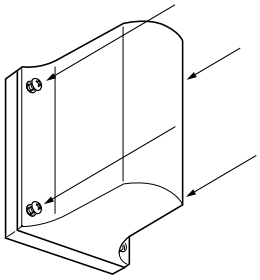


6 台座にシャーシを取り付けます。

台座の4本のツメ部をシャーシの角穴部に挿入し、矢印方向にスライドさせ台座のツメを完全にはめ込みます。



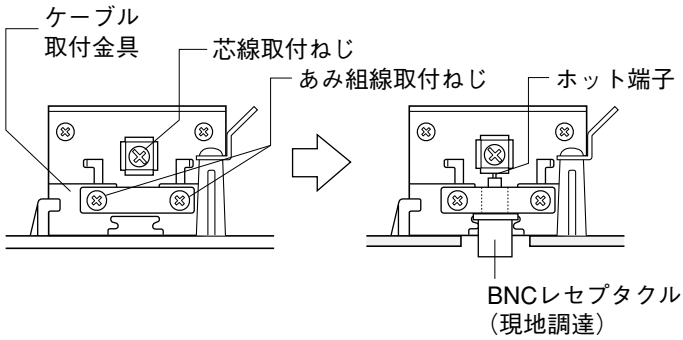
7 カバーをねじ4本で固定します。



■BNCレセプタクル（現地調達）を使用する場合

1 7ページの1、2の順でカバー、シャーシ、台座を外します。

2 1）シャーシ内の芯線取付ねじとあみ組線取付ねじを充分にゆるめます。
2）BNCレセプタクルのホット端子を芯線取付ねじに差し込みます。
3）BNCレセプタクルをケーブル取付金具にセットし、ねじ（3本）で完全に取り付けます。



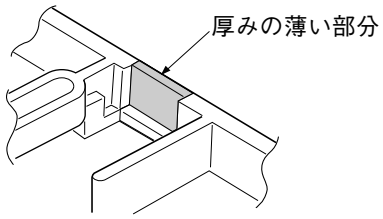
3 7～8ページの手順3、6、7の順で、台座を壁または天井に固定し、BNCコネクターを接続し、カバーを取り付けます。

- BNCコネクターと同軸ケーブルの処理は、専用圧着工具を使用し、確実に行ってください。

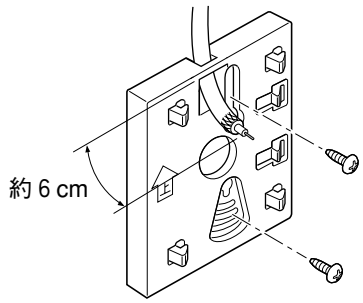
■すでに同軸ケーブルを設置済みで、壁または天井に沿って配線する場合

1 7ページの手順1、2の順でカバー、シャーシ、台座を外します。

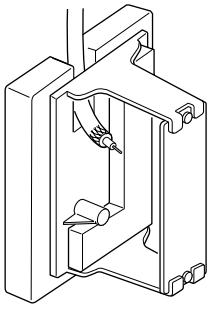
2 台座の一部（　部）をニッパーなどで取り除きます。



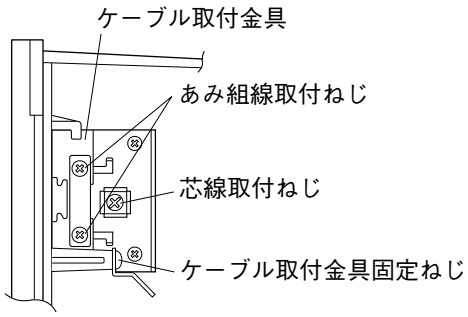
3 台座をねじ2本で壁または天井に固定します。



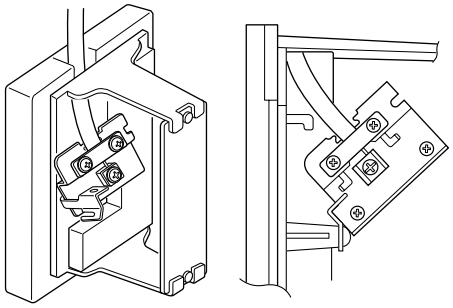
4 同軸ケーブルをシャーシの穴に通し、台座にシャーシを取り付けます。
（8ページ手順6を参照）



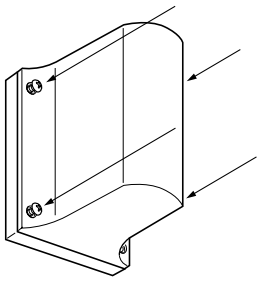
5 1）ケーブル取付金具固定ねじをゆるめて外します。



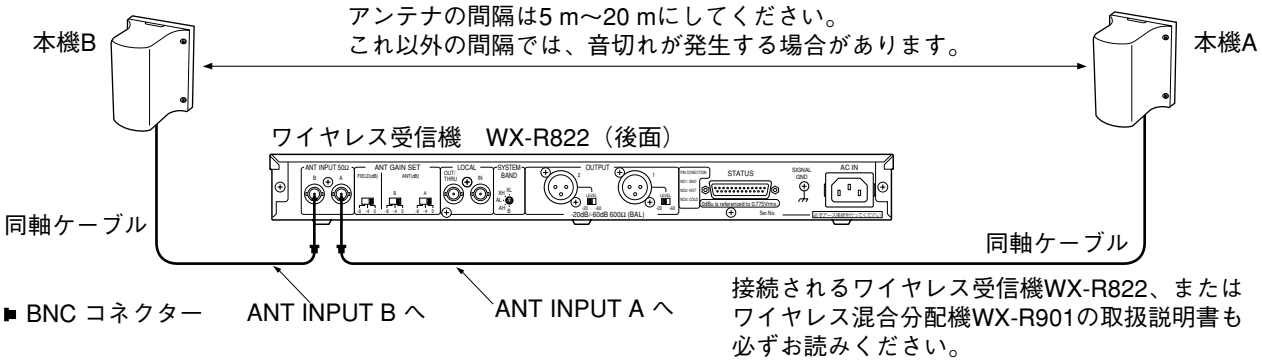
2）芯線取付ねじとあみ組線取付ねじを充分にゆるめ、先端処理をした同軸ケーブルを挿入します。
3）ねじ3本で取り付けます。
4）ケーブル取付金具の斜めの部分を、ねじ止めします。



6 カバーをねじ4本で固定します。



接続のしかた



■同軸ケーブルについて

- 本機と受信機、または混合分配器を接続する同軸ケーブルの仕様と距離は、下表に従ってください。
- 同軸ケーブルは50 Ω系または75 Ω系のものをお使いください。
- 同軸ケーブルの性能・寸法はメーカーにより多少異なることがあります。

同軸ケーブル種類（Ω）	ケーブル長（m以下）	ケーブル外径（mmΦ）
5D-2V（50 Ω）	40	7.3
5D-FB（50 Ω）	60	7.6
8D-FB（50 Ω）	90	11.0

同軸ケーブル種類（Ω）	ケーブル長（m以下）	ケーブル外径（mmΦ）
5C-2V（75 Ω）	40	7.4
5C-FV（75 Ω）	50	7.5
7C-FV（75 Ω）	70	10.4

- BNCコネクターと同軸ケーブルの処理は、専用圧着工具を使用し、確実に行ってください。

!! 重要 !!
3D-2V（50 Ω）、3C-2V（75 Ω）の同軸ケーブルは使用しないでください。電波を受信しにくくなり、音切れが発生する原因となります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
電源が入らない （電源表示灯が点灯しない）	●受信機（または混合分配器）から本機までの接続を間違えていませんか？ →接続を確認してください。	6〜10
	●受信機（または混合分配器）の電源が切になっていませんか？ →受信機（または混合分配器）の電源を確認してください。	受信機説明書
	●BNCレセプタクルの接続不良、同軸ケーブルの断線はありませんか？ →BNCレセプタクル、同軸ケーブルを確認してください。	6〜10
受信ができない （音声が出力されない）	●受信機（または混合分配器）から本機までの接続を間違えていませんか？ →接続を確認してください。	6〜10
	●受信機（または混合分配器）の電源が切になっていませんか？ →受信機（または混合分配器）の電源を確認してください。	受信機説明書
	●BNCレセプタクルの接続不良、同軸ケーブルの断線はありませんか？ →BNCレセプタクル、同軸ケーブルを確認してください。	6〜10
ノイズが発生する	●近くにノイズ源となる機器がありませんか？ →ワイヤレス機器および同軸ケーブルから遠ざけてください。	5
	●BNCレセプタクルの接続不良、同軸ケーブルの断線はありませんか？ →BNCレセプタクル、同軸ケーブルを確認してください。	6〜10

仕様

●コンバータ部

入力周波数	806 MHz～810 MHz帯
出力周波数	260 MHz帯
局部発振周波数	550 MHz帯
局部発振入力周波数	45 MHz帯（入力同軸ケーブルに重畳）
変換利得	12 dB
出力V．S．W．R	2以下
出力インピーダンス	75 Ω
電源電圧	DC12 V（入力同軸ケーブルに重畳）
消費電流	60 mA

●アンテナエレメント部

型式	λ/2ダイポールタイプ
相対利得	約2 dB
寸法	幅 112 mm　高さ 131 mm　奥行 102 mm
質量	約370 g
仕上げ	ABS樹脂インテグレーテッドホワイト色 マンセル10Y9/1近似色

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレスアンテナの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

11ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、受信機の電源を切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ワイヤレスアンテナ
品　番	WX-RB910A
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

Panasonic

ワイヤレスアンテナ　WX-RB910A　取扱説明書

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル　パナハ　ヨイワ
0120-878-410　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	WX-RB910A
	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社
〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

© Panasonic Corporation 2008

3TR004311CAA
N1205-2108